

快感

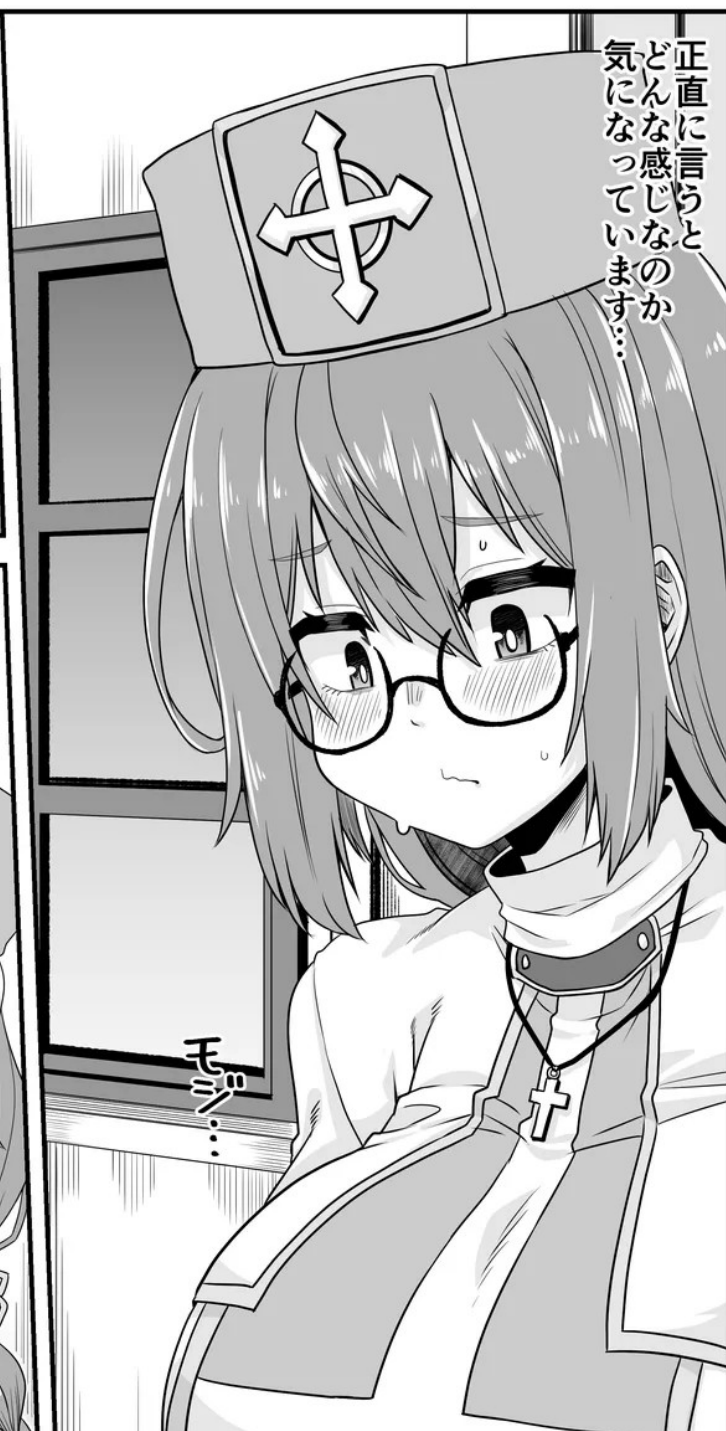
状态异常

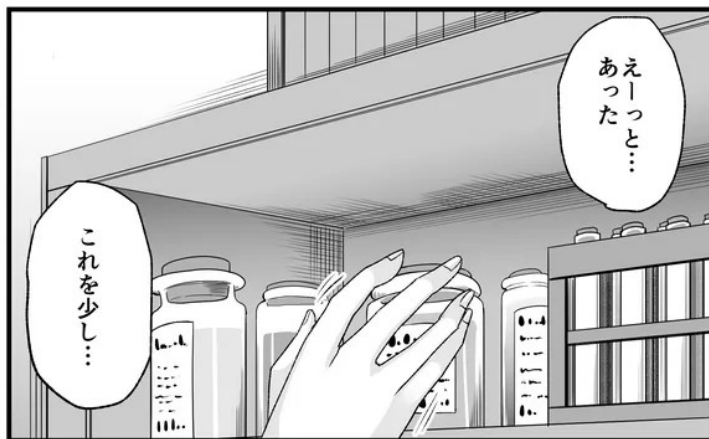
クエスト

アへに惹かれし者たち









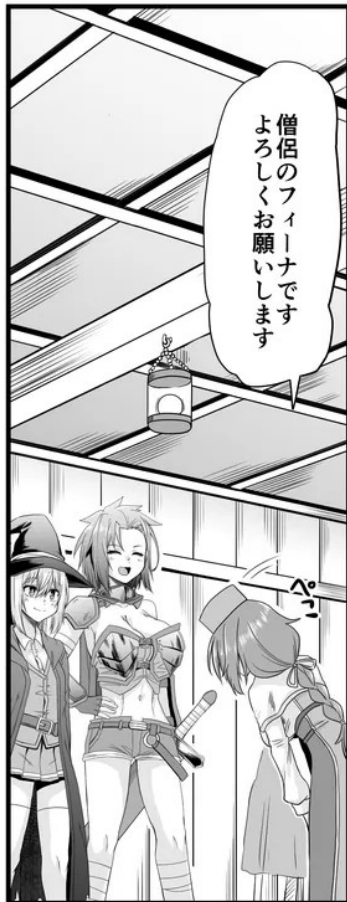






冒険者の酒場





第一章 毒

現代生化学において「毒」とは、生体の正常な機能を阻害または破壊しうる有害な化学物質や生理活性因子の総称とされる。が、古の賢者たちはこれを単なる物質とは定義しなかった。

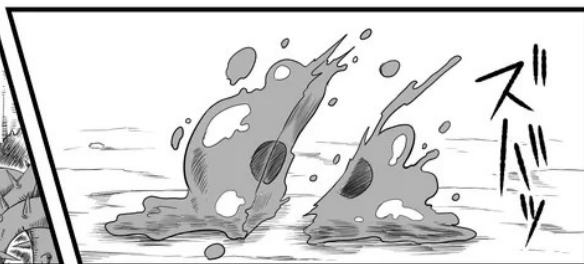
魔導理論体系においては、毒とは

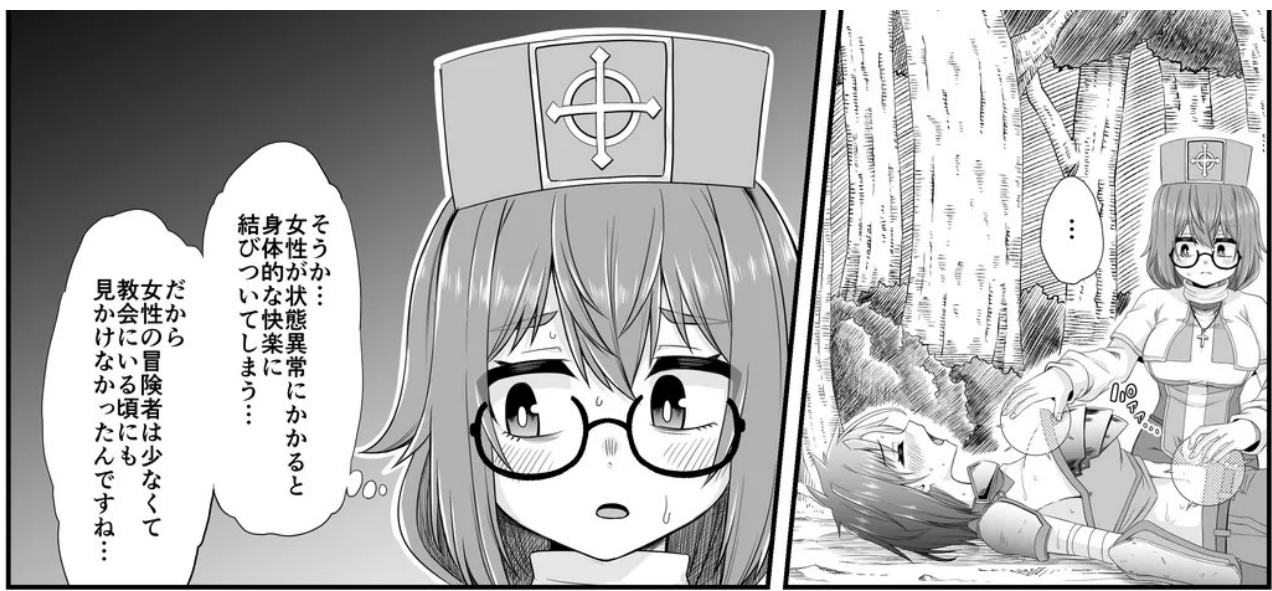
「外界の理《ことわり》に反し、生体の命系構造に干渉する"情報汚染体"」

すなわち、生物の構造的恒常性を崩壊させるために設計された異常情報の結晶であるとされる。









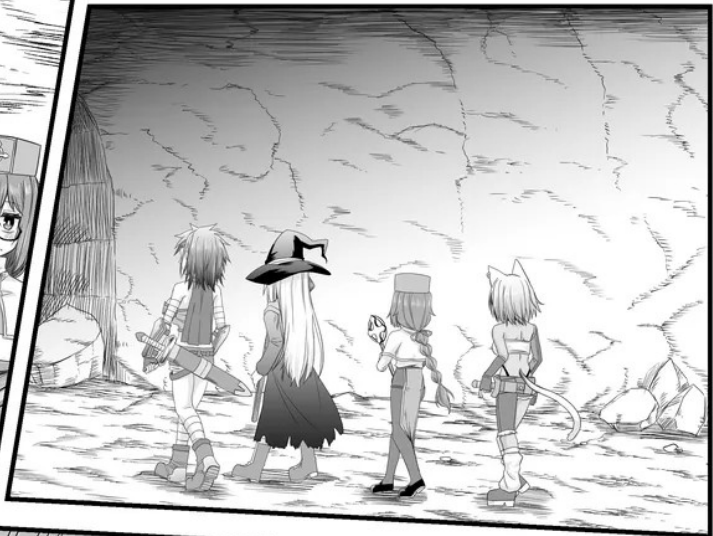
第二章 暗闇

生理学的には、暗闇状態とは視覚情報の受容と処理に何らかの障害が発生し、対象の外部視認能力が著しく低下する状態を指す。

しかし、魔導理論体系において、この現象は単なる視界の喪失ではない。

光は存在していても、視神経または脳内視覚野に幻像を注入し、現実の像を上書きする高位術式とされている。









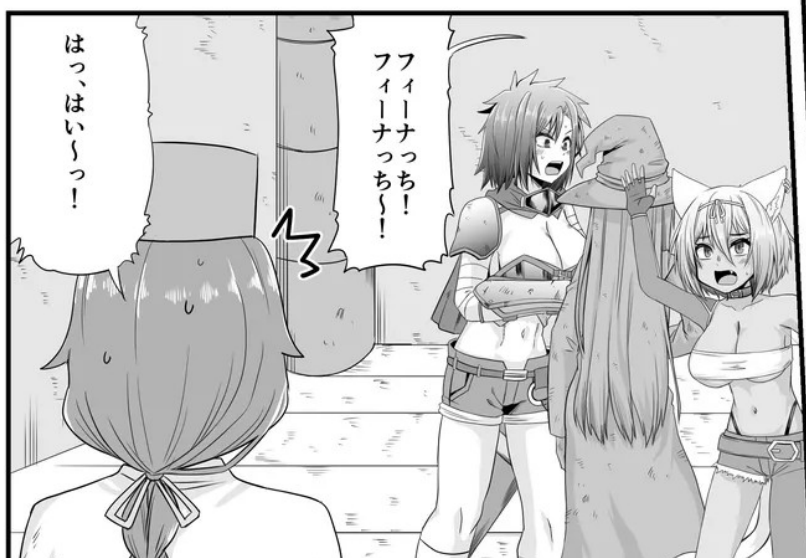
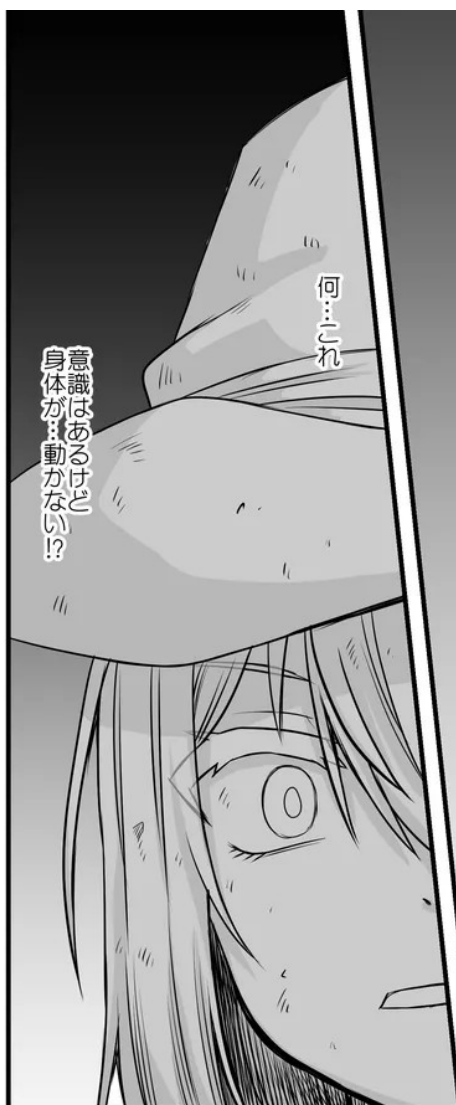
第三章 石化

「生体の分子振動を止め、無機物構造に強制変換する禁忌の錬呪」

すなわち、生命活動を停止させながらも、魂や意識の定着を維持したまま、肉体を鉱物へと変質させる異常状態である。

石化状態は“肉体の死”ではない。
ゆえに、「死ぬことすら許されない苦痛」とも呼ばれる。







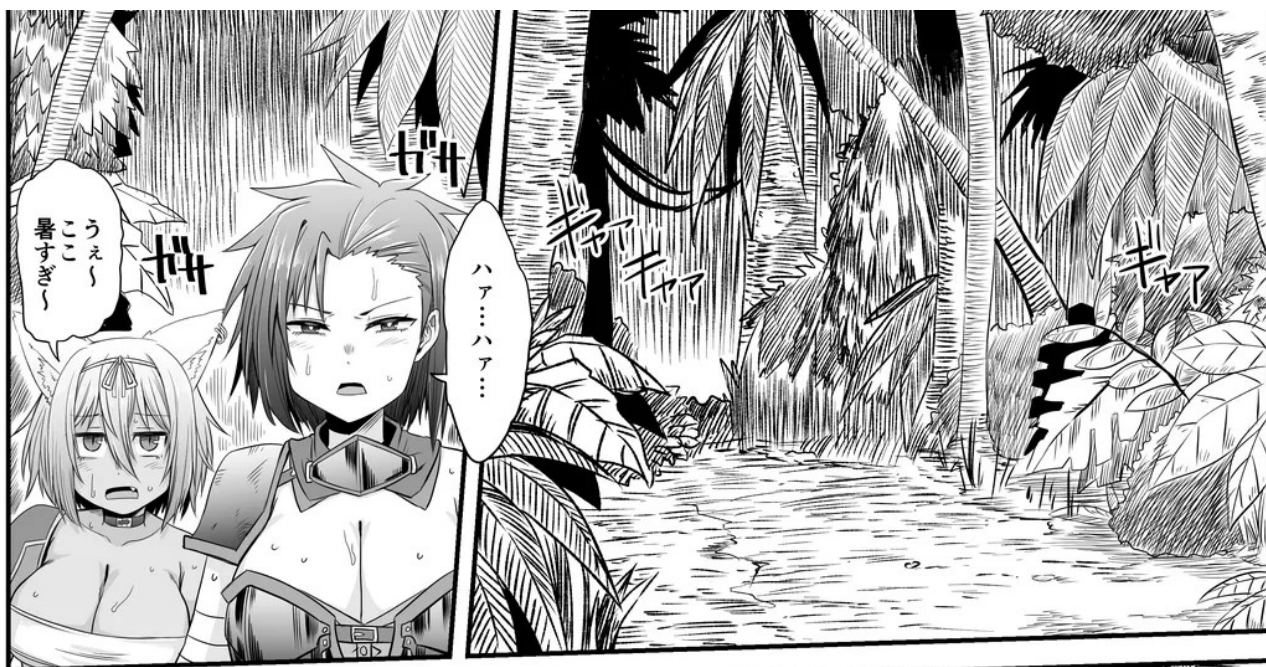
第四章 催眠

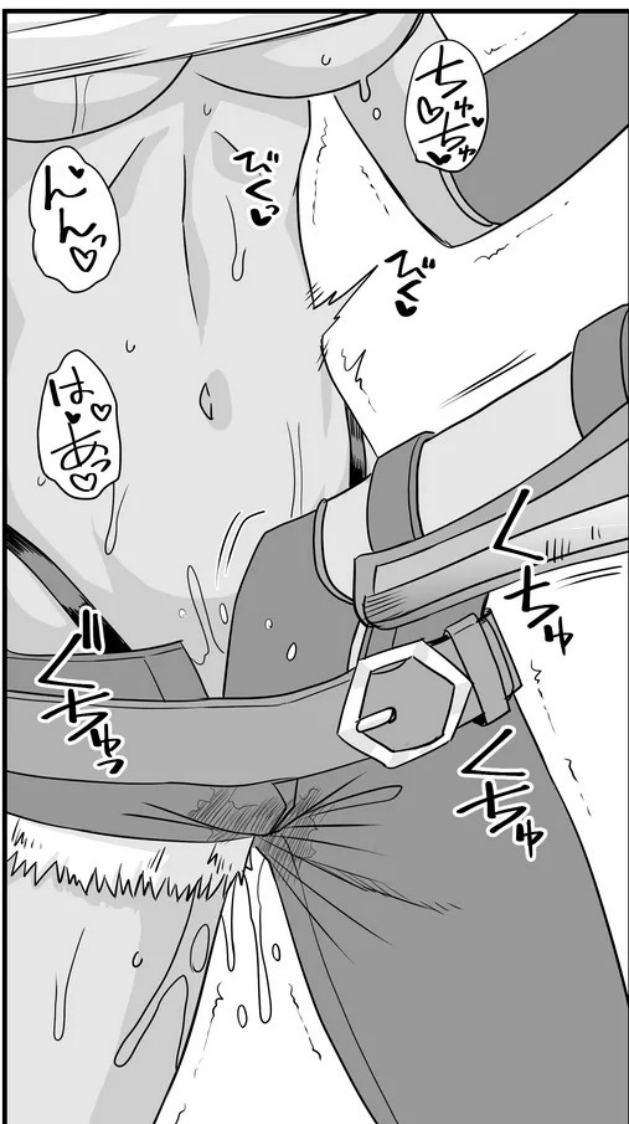
現代的には催眠とは、外部からの暗示により意識の一部を操作され、行動・記憶・知覚が一時的に変容する状態を指す。

しかし、魔導理論体系において催眠とは「魂への直接侵入により、対象の自己決定権を乗っ取る精神改変術」とされる。

一見ただの“眠り”に見えるが、その本質は「自我の封鎖」と「命令権限の上書き」にある。

催眠を受けた者は、後に自我と記憶の区別が曖昧になり、精神崩壊に至るケースもある。







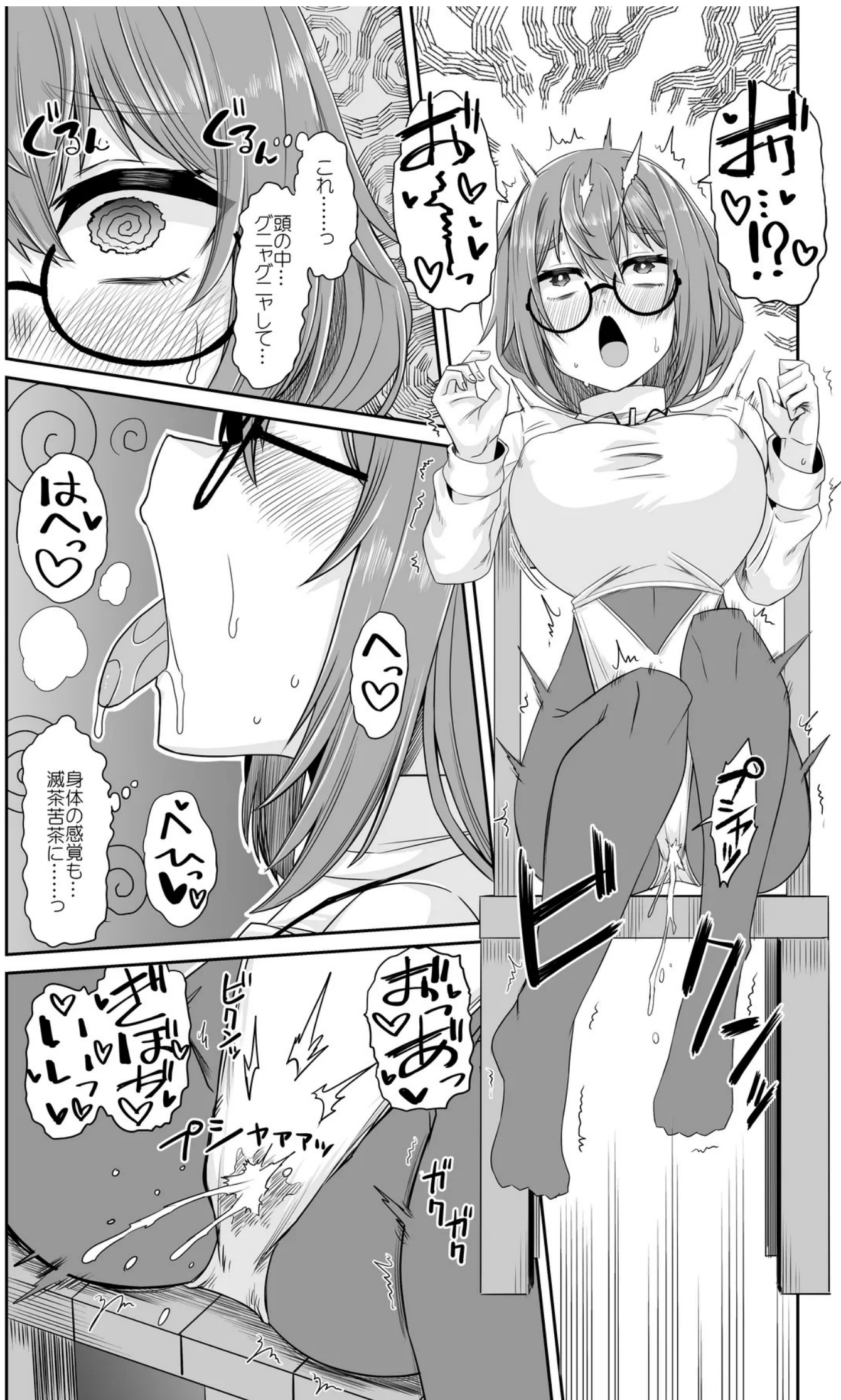
第五章 混乱

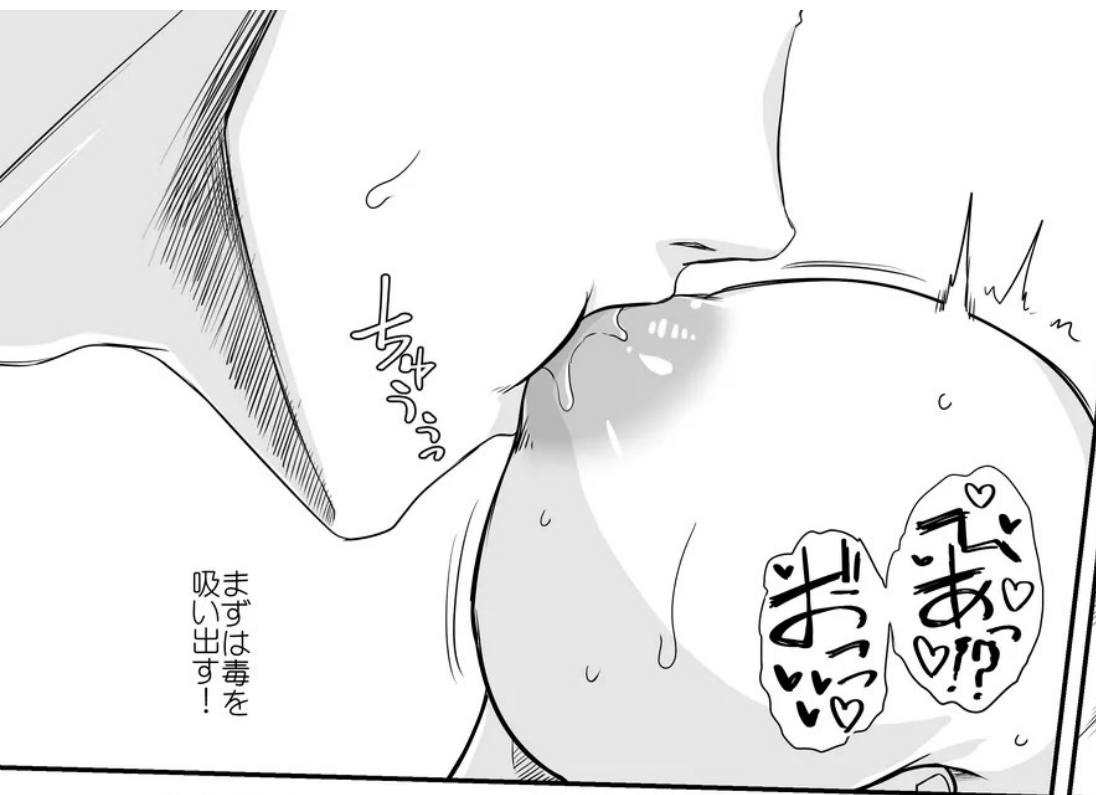
現代の定義では「混乱」とは、意識レベルの低下や、時間・空間・自己の認識障害が生じる精神状態。

しかし、魔導理論体系において「混乱」とは「魂の指令系が魔的干渉により軌道を失い、判断・行動・認識すべてが“壊れる”状態」である。

つまり、自我の座標系がズレることによって、味方と敵の区別、自分の意志、言葉の意味さえもぐちゃぐちゃに崩壊してしまう異常である。

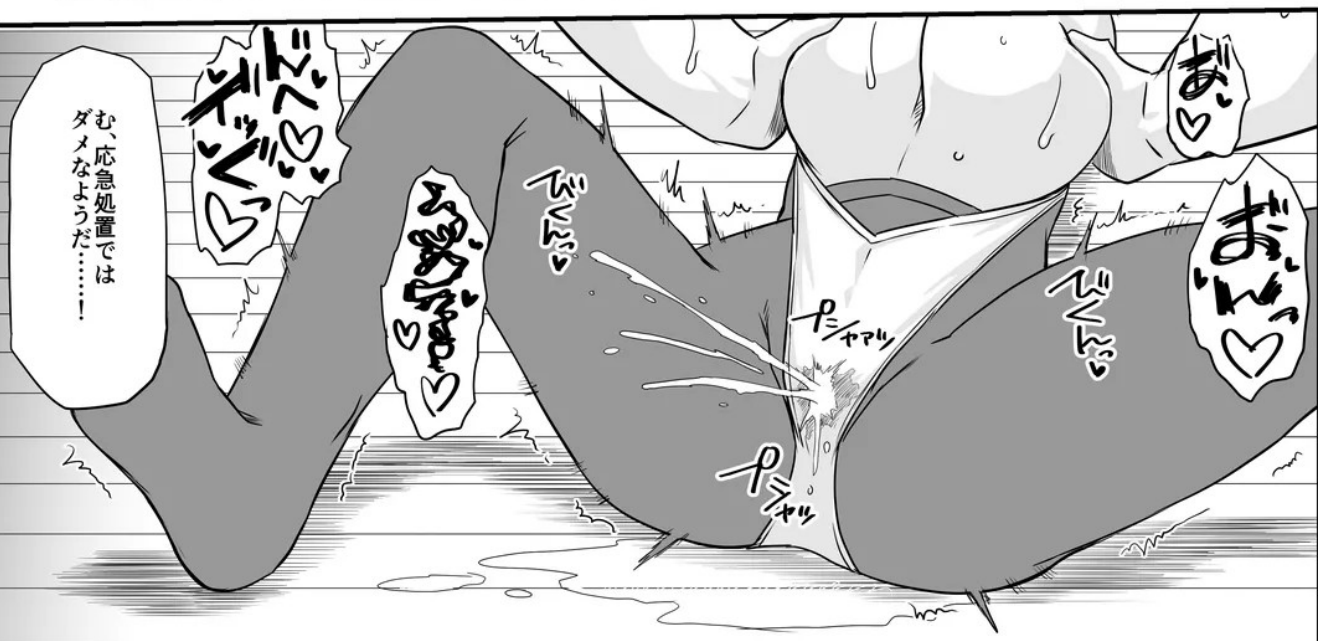






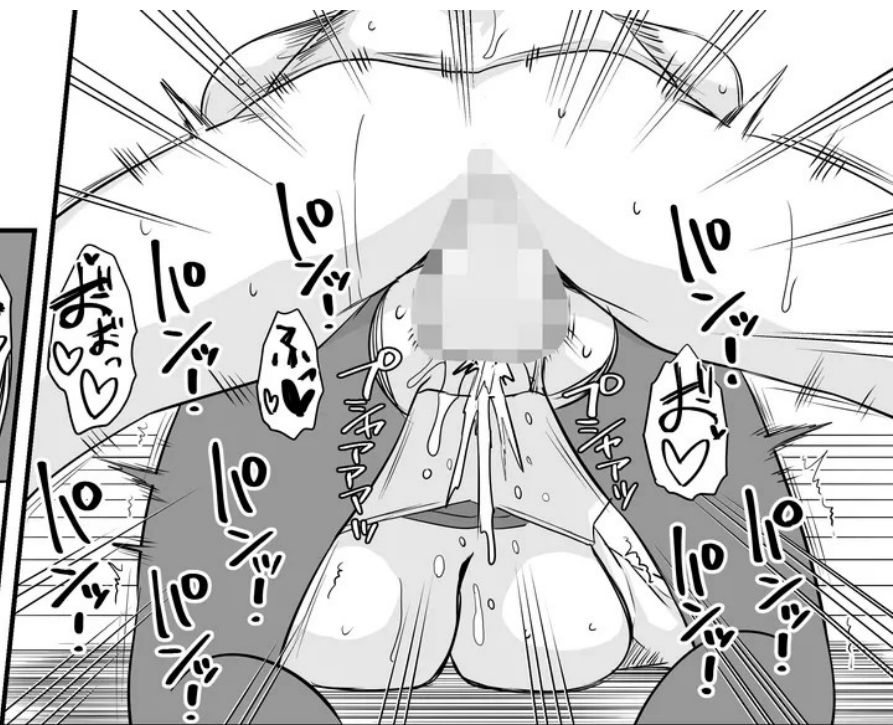
まずは毒を
吸い出す!

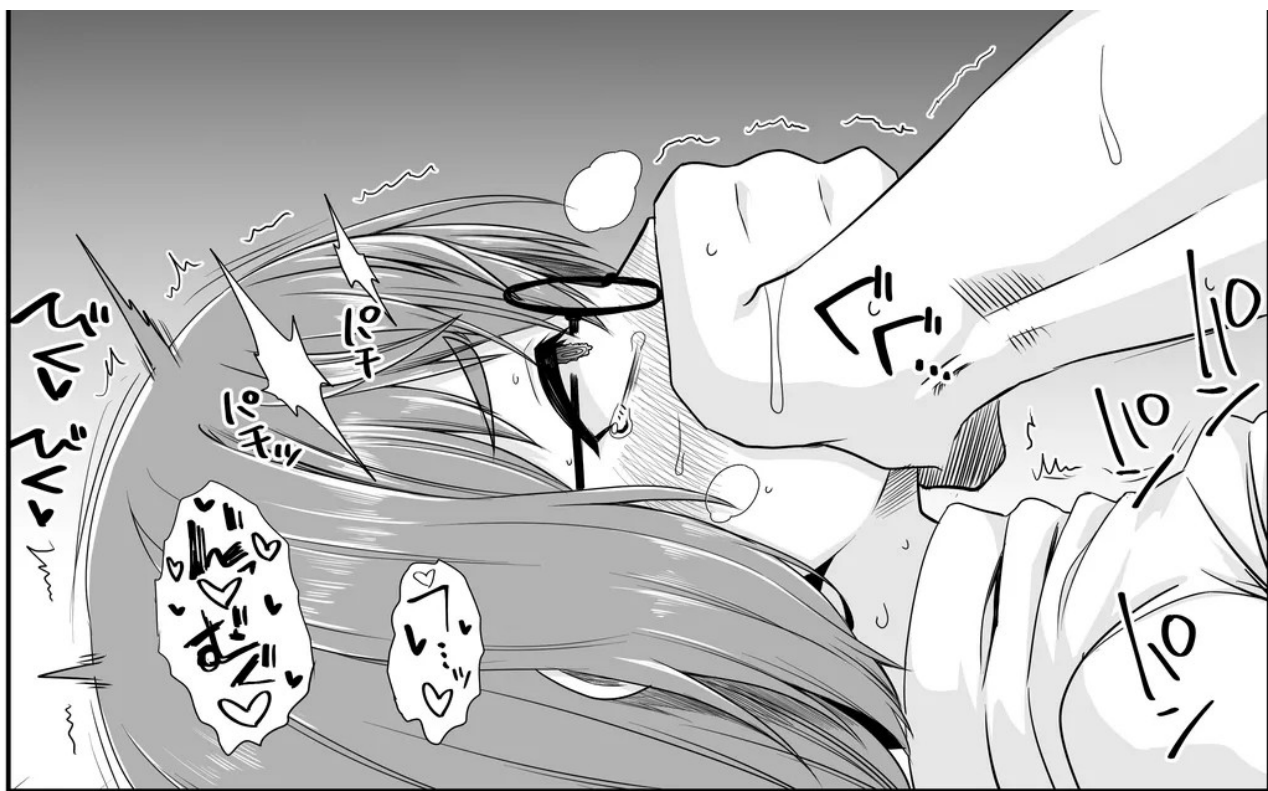
机の上の
様々な薬草…
調合を誤った薬湯を
飲んでしまったのか…?

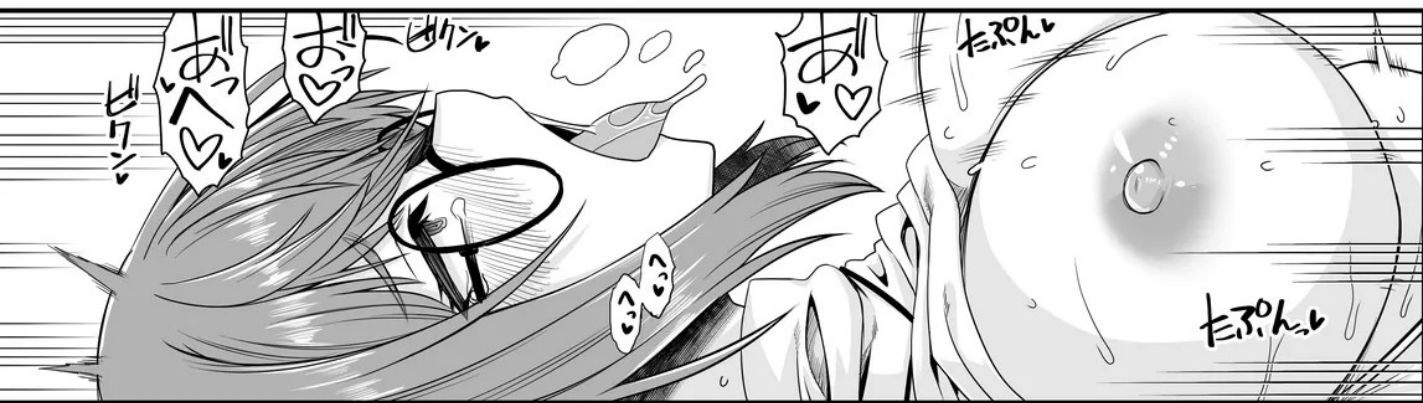


む、応急処置では
ダメなようだ……!

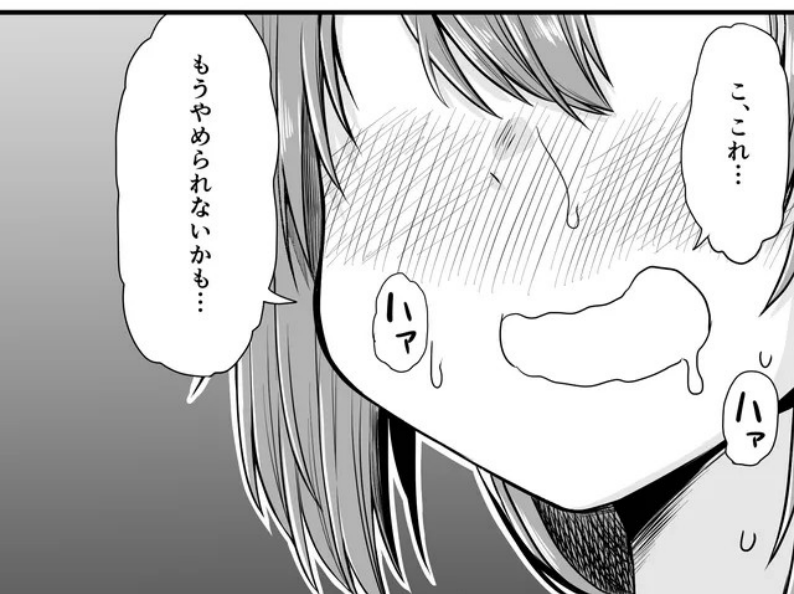


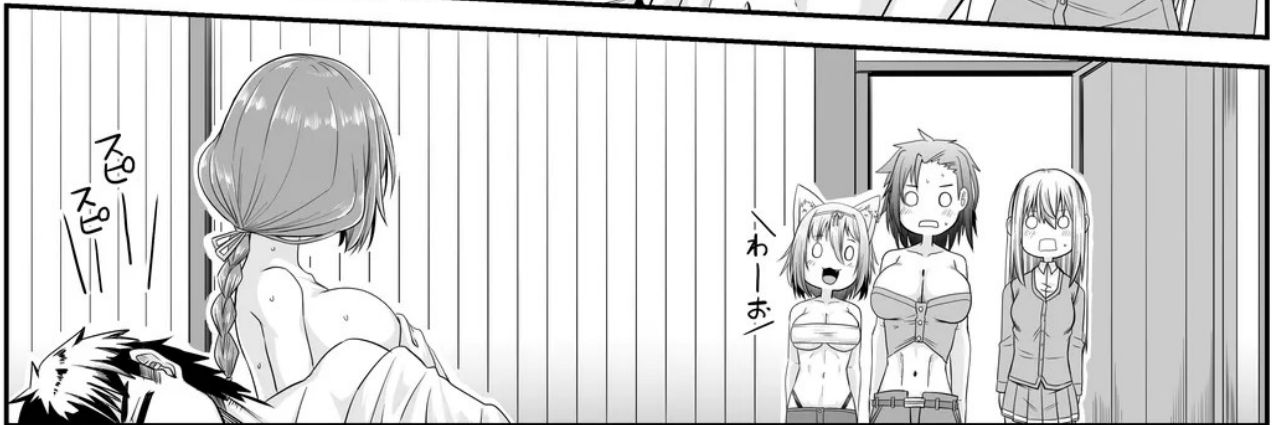
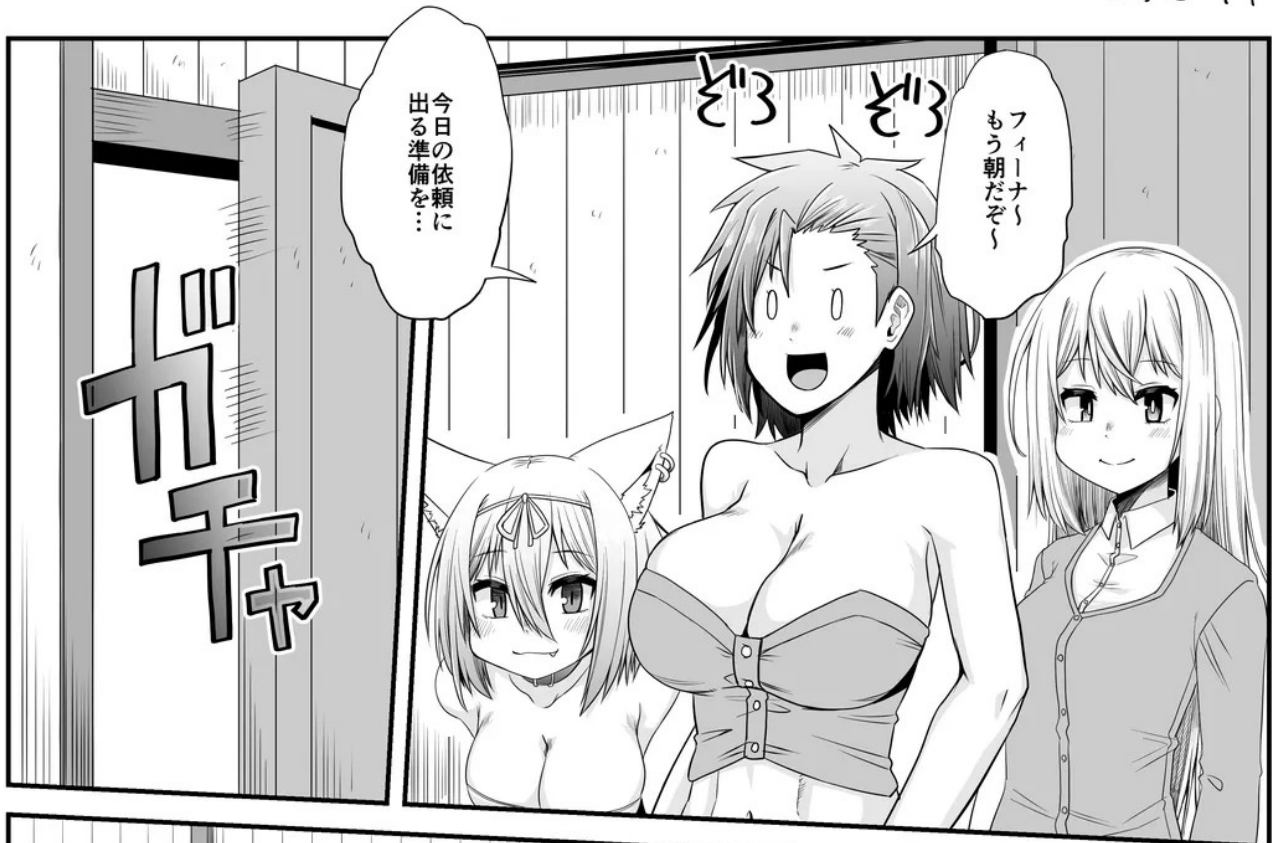


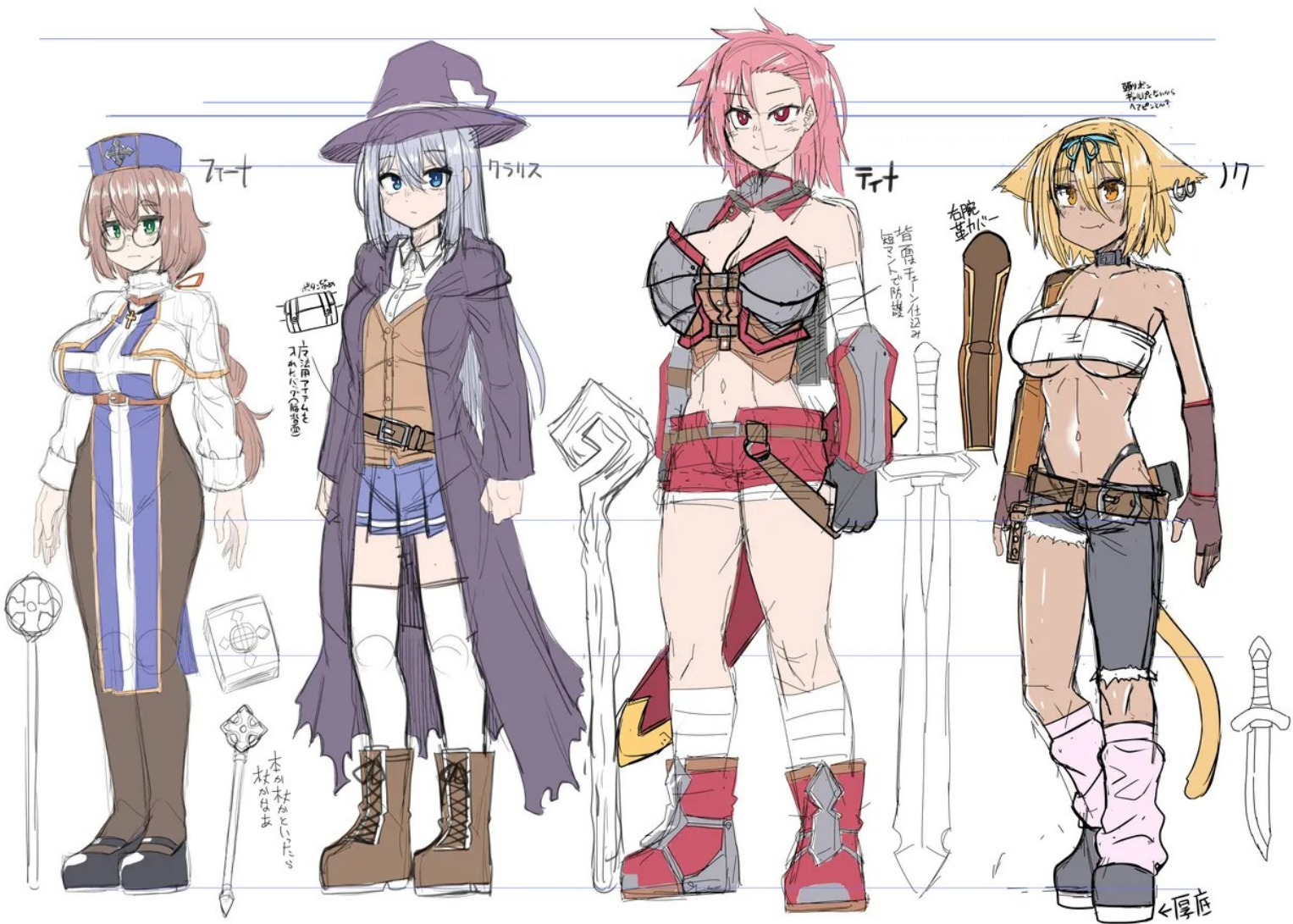












フー

ワリス

フー

ワ

1/2 法用アムモ
スリットで解き直

皆備チェン仕込み
スリットで防護

右腕
重機

本が杖かといふ
杖が杖

←厚底











混乱イメージ

